

**世界的な酒類コンペティション「ISC」で
「山崎12年」が全部門での最高賞
「シュプリーム チャンピオン スピリット」を初受賞**

- 2年連続でサントリーウイスキーがエントリー全製品の頂点に —
- 「角瓶」がゴールド受賞の快挙 —
- チーフブレンドラーの福與伸二が
「マスターブレンドラー オブ ザ イヤー」を初受賞 —



この高解像度画像は <https://www.suntory.co.jp/news/index.html> に掲載しています。

サントリー（株）の「山崎12年」は、9月26日（木）（現地時間）にイギリス・ロンドンで開催された世界的な酒類コンペティション「第29回インターナショナル・スピリッツ・チャレンジ（ISC：International Spirits Challenge 2024）」の授賞式において、全部門での最高賞「シュプリーム チャンピオン スピリット（Supreme Champion Spirit）」を受賞しました。

今回「山崎12年」は、ジャパニーズウイスキー部門最高賞「トロフィー（Trophy）」の受賞に加え、全部門の「トロフィー」の中から傑出した製品1品のみに授与される

「シュプリーム チャンピオン スピリット」を受賞し、本コンペティションにエントリーした全製品の頂点に立ちました。「山崎12年」の「トロフィー」ならびに「シュプリーム チャンピオン スピリット」受賞は今回が初、サントリーウイスキーとしては昨年の「山崎25年」に続き2年連続での快挙となります。

受賞理由について審査員は、「山崎12年は全会一致でこの賞に選出されました。味わいや、華やかな香りなど、一つ一つの要素が高い品質を体現しているだけでなく、それらを見事に組み合わせたブレンド力は、素晴らしいものです。ものづくりとその品質へ、ここまでのこだわりを感じることができるウイスキーは非常に貴重であり、今回この賞を授与できたことを大変誇らしく思っています。」などとコメントしました。

さらに、本年4月に「ウイスキーにおけるジャパニーズウイスキーの表示に関する基準※」が本格施行されたことを受け、ジャパニーズウイスキーである、サントリーウイスキー「角瓶」「オールド」「スペシャルリザーブ」「ローヤル」を初めて出品し、いずれも金賞を受賞しました。

プレミアムウイスキーに加えて、日常に寄り添い、広くお楽しみいただいているブランドが金賞を受賞したことは快挙であり、当社が取り組んできたウイスキーづくりにおける品質向上およびブレンド技術が評価され、ひいてはジャパニーズウイスキーに対する評価をより確固たるものにしたと、意義深く受け止めています。

※日本洋酒酒造組合による自主基準



中央が福與伸二

この高解像度画像は <https://www.suntory.co.jp/news/index.html> に掲載しています。

また、サントリー（株）のチーフブレンダー^{ふくよ}福與伸二が、「マスターブレンダー オブ ザ イヤー（Master Blender of the Year）」を受賞しました。

受賞理由について審査員は、「福與氏が表現する、巧みで繊細なサントリーのクラフトマンシップは、本人の経験だけでなく、最高水準の品質を誇るウイスキーを提供するための、細部までの飽くなき探求が鍵だと感じます。サントリーが手掛けるウイスキーを楽しむたびに、そのウイスキーに込められた思いや、細部までこだわり抜かれた精神を感じることができます。福與氏はウイスキー業界の

第一人者として世界的に知られていますが、この賞の受賞によって改めて、彼の才能とクラフトマンシップが証明されました。」などとコメントしました。

福與は、「製品があつての受賞であり、長年、会社やチームが培ってきたものをたまたま私が代表して受賞させていただいたのだと思っています。先代のブレンダーたちがつないできたものを、製品を通じて理解いただけたこと、世界で評価いただける製品を出し続けられたことを誇らしく思います。」と受賞の喜びを語りました。

加えて、サントリー（株）は、高品質で多彩な製品を生み出した各部門1社に贈られる「プロデューサー オブ ザ イヤー (Producer of the Year)」をジャパニーズウイスキー部門において5年連続で受賞しました。

●インターナショナル・スピリッツ・チャレンジについて

イギリスで毎年開催される世界的な酒類コンペティションで、本年は全部門で約数千品のエントリーがありました。ウイスキー部門は、世界のウイスキー蒸溜所のブレンダーやディスティラー・マネージャーなど約10名が、900品を超える世界のウイスキーをブラインドテイスティングし、賞を決定するという審査方法をとっています。ウイスキーづくりのプロフェッショナルがその卓越した味覚と嗅覚で厳正に品質を評価するため、大変権威あるコンペティションとされています。

●サントリーシングルモルトウイスキー「山崎12年」の特長

日本人の味覚に合う上品なテイストの日本を代表するシングルモルトウイスキーです。山崎蒸溜所のホワイトオーク樽原酒由来の甘いバニラ香と熟した果実香が特長で、スパニッシュオーク樽原酒とミズナラ樽原酒が隠し味として潜み、飲み飽きず、幾重にも味が押し寄せます。

●サントリーウイスキー「角瓶」の特長

1937年の発売以来、日本人の繊細な味覚に合う味わいと、変わらぬ亀甲文様のボトルが多くのお客様に愛されているロングセラーブランドです。山崎蒸溜所・白州蒸溜所・知多蒸溜所の原酒をバランスよく配合し、甘やかな香りと厚みのあるコク、ドライな後口が特長で、ハイボールなどでお楽しみいただいています。

●福與 伸二略歴

1961年4月生まれ。1984年サントリー株式会社（現サントリーホールディングス株式会社）入社。白州蒸溜所やブレンダー室、自社のスコットランド蒸溜所勤務などを経て、2009年にチーフブレンダーに就任、現在に至る。

「山崎」や「響」「碧A0」など、さまざまな製品開発を行うとともに、サントリーグローバルスピリッツ社の「Whisky Quality Advisor」として、グループ全体の品質向上にも携わっています。

▼コンペティション名

「第29回インターナショナル・スピリッツ・チャレンジ(I S C : International Spirits Challenge 2024)」

▼授賞式概要

2024年9月26日(木) ※ロンドン現地時間
イギリス・ロンドンにて

▼授賞式での受賞名、受賞対象

- ・「シュプリーム チャンピオン スピリット」
サントリーシングルモルトウイスキー「山崎12年」
- ・ジャパニーズウイスキー部門「トロフィー」
サントリーシングルモルトウイスキー「山崎12年」
- ・「マスターブレンダー オブ ザ イヤー」
サントリー株式会社 チーフブレンダー 福與 伸二
- ・ジャパニーズウイスキー部門「プロデューサー オブ ザ イヤー」
サントリー株式会社

▼「山崎」ホームページ

<https://www.suntory.co.jp/whisky/yamazaki/>

▽本件に関するお客様からの問い合わせ先

サントリーお客様センター <https://www.suntory.co.jp/customer/>

以 上

水と生きる SUNTORY

自然と水の恵みに生かされる企業として、貴重な水資源を守ること。
さまざまな企業活動を通じて社会に潤いをもたらし、社会にとっての水であること。
社員一人ひとりが水のように自在にしなやかに挑戦できる会社であること。
「人間の生命(いのち)の輝き」をめざす想いを、「水」に託して伝えるメッセージです。